



北橋 豊作 議員

本市の農業基盤強化策

問

①「人・農地プラン」の作成状況と担い手等の支援策は。
 ②作業受託組織の検討は。

③農業6次産業化や食のベンチャー企業誘致を。

答

久保産業建設部長

①プランは、現在21集落で策定が完了しており、一定の条件を満たす新規就農者に対し、給付金を支給している。

また、農地集積に協力する者に対して、経営転換協力金、分散錯圃解消協力金などの支給に向けて準備を進めている。

②古くからのつながりによる地域共同体としてのまとまりを重視し、集落単位の組織経営体の育成を検討している。

答

武智市長

③6次産業化は農業所得の向上や雇用の創出等、今後の農業振興に不可欠なものとして認識している。

本市でも、農産物の直売や加工といった企業活動が少しずつ広がりを見せているが、高齢化や担い手不足を理由として、規模拡大や法人化といった動きは難しい現状である。引き続き担い手対策や商品開発への支援、施設・機械導入への助成など、積極的にサポートしていきたい。

新たな起業家の要請や支援、トップセールスによる食の町にふさわしい企業の誘致を行いたい。

タウンミーティングの期待度

問

①前体制での踏襲と、大きく改革、見直しは。

②建設後のランニングコストを考慮した場合の見直しは。

③駐車場のスタンスは。

④15〜20年後の本市は。

⑤最終意見集約は。

答

武智市長

①行政は継続性が何より大切であるが、必要な改革・改善には市民の意見と並行しながら、どんな難問であろうと真正面から見直しを実行したい。

②現時点では、用地取得費も含めて初期投資には極力コストをかけない方向で計画を進めたい。

機能については、将来を見据えたエネルギー消費量の少ないエコ庁舎として、規模は現状の必要面積の積み上げにより決定したい。



タウンミーティングの様子（緑風館）

そうした状況を想定して、壁や間仕切りのないオープンフロアとし、将来のフロア構成の変更等にも柔軟に対応できる空間構成を構築したい。

⑤アンケート調査を実施し、意見集約を行い、その結果を議会と相談し決定する。

「1000縁商店街」の中心市街地の活性化

問

本市の中心市街地を1000円に変えましょう。

答

武智市長

山形県新庄市が発祥の地で、全国的に広がりを見せており、県内でも開催している市町もある。

状況を確認して関係団体との協議を行いながら、本市の実情に合ったユニークで斬新な発想による活性化の取り組みについて検討したい。